

瀋陽駐在員事務所



「瀋陽の冬と建設ラッシュ」

発展著しい瀋陽。一度でも瀋陽に視察に来られた方の感想の共通点は、「この建設ラッシュに驚いた」ではないでしょうか？当地瀋陽では、10月末頃から最低気温がマイナスになり始め、11月中旬～下旬頃には最高気温がマイナスの所謂「真冬日」になります。とはいっても、外の寒さとは違い多くのマンションは、11月1日から暖房が入り始め部屋の中はいつでも「ぽっかぽか」。この辺が寒い冬を暖かい部屋の中で過ごす北海道との共通点ですね。

11月に入ると街の雰囲気に変化が見られます。それは多くの建設現場で建設がストップしてしまうことです。技術的にコンクリートは、一度凍ると二度と固まらなくなる為、物理的に建設が出来ない状態となります。このことが瀋陽のみならず、広く東北3省の発展を妨げる原因となりました。暖くなる年明け3月下旬までは工事が進まないということです。1年の内3分の1以上も工事が出来なければ、内陸部との経済発展の差はなかなか縮まりません。そこで大手日系企業を中心に日本の寒冷地技術の導入が行われています。寒さを逆手に取ったビジネス。寒い気候同士の間だからこそ、生かせるようなビジネスチャンスがこう行った所にもあるかもしれません。

渋川 隆彦

(財)日中経済協会北京事務所 札幌経済交流室



北京市内 渋滞の様子

「毎月26日は・・・」

北京在住の方にとって毎月26日は非常に重要な日です。

抽選の結果が、テレビ・インターネットで生中継されるからです。では、なんの抽選かという、宝くじでもロト6でもなく、「車のナンバープレート」の抽選です。

車両保有者の増加に伴い、交通渋滞が深刻な問題とされている北京市では、その緩和策として、1年8ヶ月前から、抽選政策を行っています。

本年8月26日、20回目となる抽選会が開催され、過去最多の105万人が参加し、当選率はわずか2%以下という過去最低の水準でした。

当室の中国人職員も、第二回抽選会から19回、ご主人と二人で応募しております。当初は、毎月26日の発表を心待ちにしておりましたが、抽選の度に下がる当選率により、現在は全く期待していないとの事です（一応、結果は確認するとの事です・・・）。

現在、様々な要因にて、中国における日本車販売が落ち込んでいますが、その要因の一つに、車を購入したくても、ナンバープレートが当たらないと購入しても意味が無いというジレンマが生じているという事も、要因の一つと言えるでしょう。

佐藤 孝太郎

ユジノサハリンスク駐在員事務所



カエル岩



バーベキュー

「サハリン観光名所めぐり……カエル山」

先週、サハリンで初雪が降りました。サハリンの秋はとても短く、その先には長く厳しい冬が待っています。とは言え日本人の私は少しでも秋を楽しむべく、週末を利用し気の合う仲間達と近くの観光名所を散策して来ました。

通称“カエル山”にハイキングに行きました。標高は700m程度で頂上には二匹のカエルが座った形をした大きな岩があり、そこからの景色は天気良ければアニワ湾を一望でき絶景です。登山の後は麓を流れている澄んだ川で“ヤマメ”釣り。あっという間に10匹程のヤマメが入れ食い状態で釣れ、これを天ぷらにして、塩とカレー粉をミックスして付けて食べると最高です。その日は秋晴れの天候にも恵まれ、日本人会の奥様方も大勢参加し、バーベキューも楽しみました。サハリンの自然を満喫した一日でした。

カエル山は市内から40分程度で行ける場所ですが、道は整備されておらず普通車では行けません。やはりサハリンでは4WDのRV車が必需品です。

三上 訓人